

# 星野先生の緩和ケア講座（第1回）

## 【アンケート結果】

### <参加者（回答者）の属性>

年代	n	%
20代	2	4%
30代	8	16%
40代	16	33%
50代	18	37%
60代以上	5	10%
合計	49	

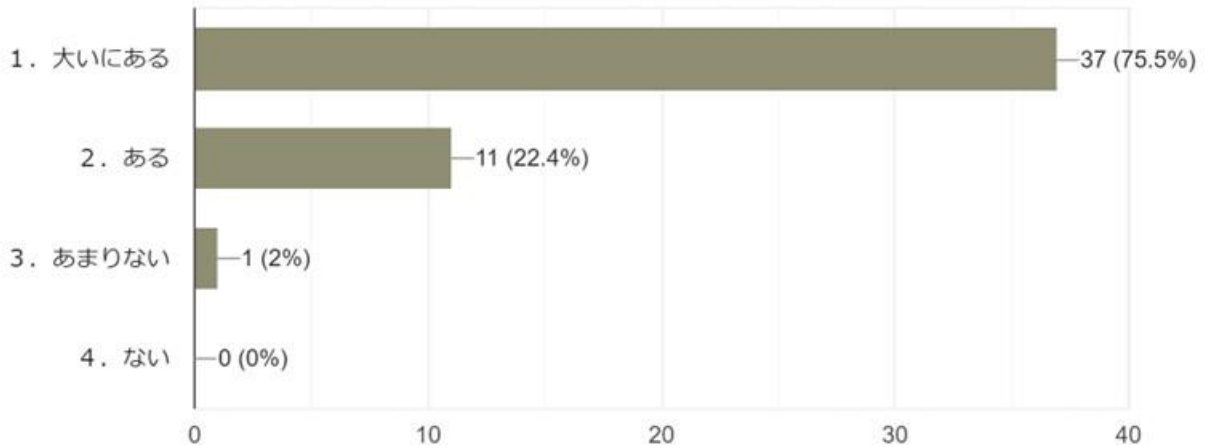
職種	n	%
看護師	15	31%
介護支援専門員	12	24%
介護職員	4	8%
リハ職(OT・PT・ST)	3	6%
医師	3	6%
保健師	3	6%
行政	2	4%
社会福祉士	2	4%
薬剤師	2	4%
MSW	1	2%
生活支援コーディネーター	1	2%
無回答	1	2%
合計	49	

職場	n	%
居宅介護支援事業所	10	20%
病院	8	16%
訪問看護ステーション	7	14%
地域包括支援センター	6	12%
介護老人保健施設	3	6%
診療所	3	6%
公的機関	2	4%
通所介護	2	4%
保険調剤薬局	2	4%
訪問介護	2	4%
グループホーム	1	2%
看護小規模多機能ホーム	1	2%
通所リハビリテーション	1	2%
訪問リハビリテーション	1	2%
合計	49	

## <研修の理解度・満足度>

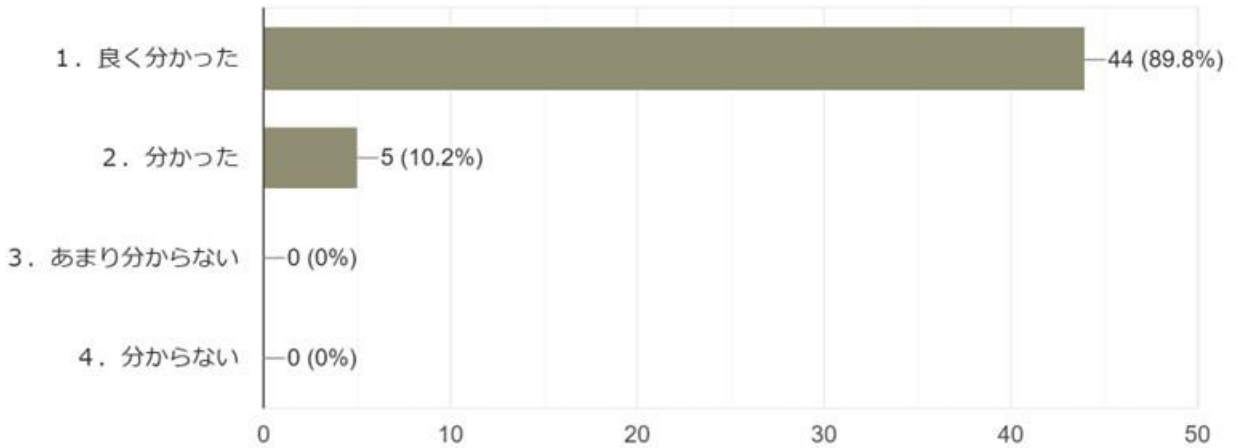
質問1 研修を受講して、明日からのあなたの実践に役立ちそうですか？

49件の回答



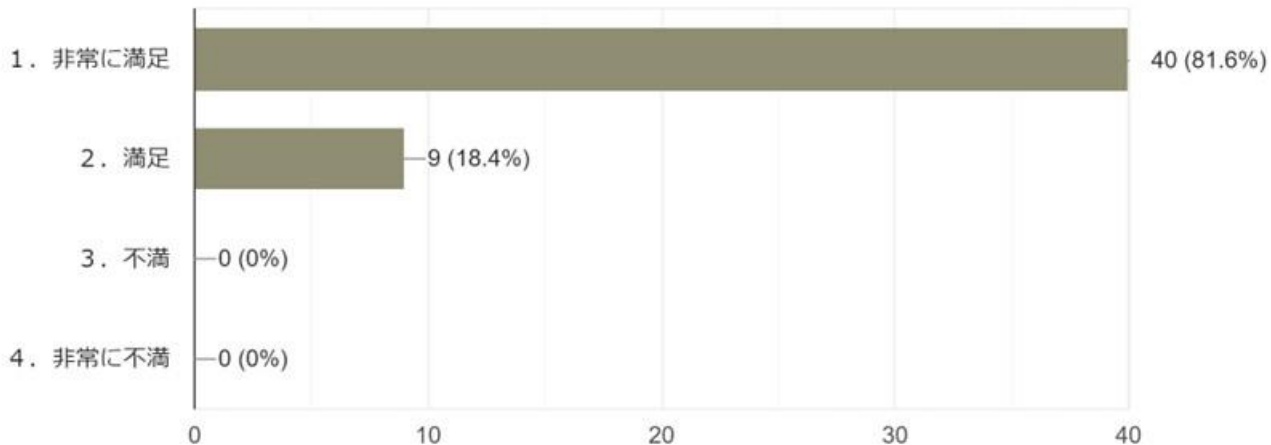
質問2 研修を受講して講義の目的は理解できましたか？

49件の回答



質問3 今回の研修内容はいかがでしたか？

49件の回答



## 質問4 研修全般に対してご意見や感想がございましたら、ご自由にご記入ください

- 1人1人のケース対応で思うことが多々あります。ロードショーで学び、深めながら、一人一人に寄り添った対応を心掛けたいです。(保健師:地域包括支援センター:40代)
- web参加でしたが、特に問題ありませんでした。もし可能であれば、事後でも良いので資料をメールなどで共有いただくとさらに良いのではないかと思います。(医師:介護老人保健施設:40代)
- アーカイブとして残してくれるとうれしいですが、いかがなものでしょうか。先生の笑顔もいつもすてきです。ありがとうございました。「リスペクト」…わたしもそれ、とっても大事と実感しています。(保健師:地域包括支援センター:40代)
- いつも、星野先生の講義は胸に刺さるものがあり、利用者様の為に少しでも力になっていきたい、と感じます。大変なこともあります。チームの一員としてこれからもみんなで協力し、利用者様の自然で素敵な笑顔を見ていきたいです。本日はありがとうございました。(介護支援専門員:居宅介護支援事業所:40代)
- お話の内容が具体的で、その時の状況や会話が手に取るようにわかりました。平日頃、自分だったらどうされたいか、この方はどんな風に対応されるのが好まれるのか考えながら介護にあたっていますが、そばに座って寄り添うこと、隣で一緒にご飯を食べるのは、効果的だと感じています。私もお隣お邪魔します?と言って自分の休憩時間に一緒に食事をする事が良くありますが、こちらから話しかけなくても話しかけてくれたり、昔の話を聞かせてくれたり、ホッと出来る時間で和みます。これからも寄り添う介護に努めるとともに、今後の研修会も楽しみにしています。本日は参加出来て本当に良かったです!ありがとうございました!(介護職員:通所介護:40代)
- とても興味深く拝聴させていただきました。ありがとうございました。あらためて患者さんの話を聴くことの大切さ学ばせていただきました。次のロードショーを楽しみにしています。(介護支援専門員:居宅介護支援事業所:50代)
- とても参考になりました。今後も宜しくお願いします。(保健師:地域包括支援センター:40代)
- とても良い研修会でした。星野先生素敵です!とても内容が具体的で、自分がその場に居るような気持ちで聞いていました。次回も楽しみにしています!ありがとうございました。(介護職員:通所介護:40代)
- 一般的な講義ではなく、実際に何をしたらかがドラマチックにお話されていて、とても興味深い内容だったと思います。暑さが続く中お疲れ様です。ありがとうございました。(看護師:訪問看護ステーション:50代)
- 外科外来を担当している看護師です。告知の場に立ち会うこともあり、緩和ケアの始まりの場なんだと思いました。心配りをし、患者様に付き合いたいと思いました。(看護師:病院:50代)
- 今まで緩和ケア=ターミナルと思っていましたが、そうではなく病名診断された時から緩和ケアは始まっているというのが一番勉強になりました。利用者様や患者様にとって、病名診断された時のショックや怒り・無気力といった感情は普通の感情で、すぐには受け入れられないという辛さをどう私たちが共有し、支えていくかととても考えさせられる講義でした。(介護職員:グループホーム:30代)
- 最後の方で星野先生のお話が音楽に消されてほぼ聞き取れなかったのが残念でした。(介護支援専門員:居宅介護支援事業所:50代)
- 回目のインフォームドコンセントとアドバンスプランニングについて 興味深いです。(看護師:訪問看護ステーション:50代)
- 自分が病気(がん)になっても頼れる地域で暮らせれば幸せだと思った。(無回答:診療所:60代以上)
- 実践をまじえてのお話でとてもわかりやすく勉強になりました。また次回もぜひ参加させていただきたいと思います。(社会福祉士:地域包括支援センター:40代)
- 症例を提示頂き とても勉強になりました。ありがとうございました。(医師:診療所:50代)
- 星野先生、いつもありがとうございます。今まさに、お別れが近づいているがん患者さんとご家族に、ボランティアさんと共に関わろうとしているところです。ご家族がどうしても側につくことができない時間を、ボランティアさんをお願いできないかというご依頼でした。ご家族の方にも日常(仕事等)があり、その従来流れていた日常を送れるように関係者でサポートすることも、緩和ケアのひとつだと考えております。患者さん、そしてご家族にも、丁寧に向き合っていきたいと思います。(行政:公的機関:40代)
- 全5回参加します!(看護師:病院:50代)
- 側に寄り添い相手の話を聞くだけで良い。そこから思いが分かってくる。話す事で自分は何を訴えたいのかを自覚することもできる。チームで支えていく。独断で走ってはいけない。情報を共有し合いながら支えていく。改めて感じさせられた部分でした。星野先生の言葉は分かりやすく胸に響き共感できるお話ばかりでした。ありがとうございました。(介護支援専門員:居宅介護支援事業所:60代以上)
- 徹底的に患者さんに寄り添う星野先生、チームの皆さんに感銘を受けました。又それぞれの得意技を知って活かす。情報交換の繰り返し、お互いのリスペクトこの観点はすべてに通じる大切なことと思います。1回目有難うございました。これからも楽しみにしています。宜しく願い致します。(介護支援専門員:地域包括支援センター:60代以上)
- 日頃取り組んでいることや悩んでいることなど星野先生の講義を聞いて、間違っていないんだ!これでいいんだ!と思うことができました。次も楽しみにしています。ありがとうございました。(看護師:訪問看護ステーション:40代)
- 日々悩みながら試行錯誤しながらbetterを探して業務をしています。こういう機会では交流し勉強し合えることは励みになります。ありがとうございます。(看護師:訪問看護ステーション:50代)
- 分かりやすくお話しして頂き利用者様と接する時の参考になりました。次回も楽しみにしております。(介護職員:訪問介護:30代)
- 訪問看護に勤務して3年目です。緩和ケア(がん、心不全、肝不全…)の利用者さんと接する機会があり、いろんなシーンが思い出されました。がんの方との思いに寄り添うNSとしての辛さがまだあります。答えはないですが、自分なりに、ステーションなりに「よかった」と思っていただけけるケアが続けられたらと思いました。(看護師:訪問介護:20代)
- 緩和ケアはうちの施設でも今からはじめられることを実感できた。(介護支援専門員:看護小規模多機能ホーム:50代)
- 今回、非常に心に刺さる内容でした。ぜひ今後の研修会も多くのスタッフとともに参加したいと思います。ネットワークづくり宜しくお願いします。(医師:診療所:50代)